

ひふみ投信のキャンペーンを通し、

コロナ禍で支援活動をする 7 つの団体へマッチング寄付を実施

2021 年 6 月 25 日

レオス・キャピタルワークス株式会社

レオス・キャピタルワークス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：藤野 英人、以下当社）は「ひふみ投信」の基準価額が 6 万円を達成した記念に、抽選で 600 名様にひふみオリジナル饅頭 6 個をお送りするキャンペーン「ひふみ 6 まんじゅうプレゼント」を実施しました。今回より初の試みとして、キャンペーンに落選されたお客様に参加賞として当社特製ステッカーか、寄付かをお選び頂いたところ、約 2 万名の応募者の約 8 割の方が寄付を選択、約 14,000 名のお客様の寄付と、当社からのマッチングギフトを合わせ、総額 3,068,352 円を新型コロナウイルスで困窮する方を支援する以下 7 つの団体へ寄付いたしました。

支援先
01

認定 NPO 法人 D×P(ディーピー)

さまざまな事情から周囲に頼れない 10 代や大学生の若者へ食料品や生活用品、生活費の現金支給を行なう活動「ユキサキチャット」を支援しました。



支援先
02

認定特定非営利活動法人カタリバ

10 代の若者を応援するカタリバ活動の中で、ひとり親世帯の子どもも多く利用している困窮世帯向け学習サポート「キッカケプログラム」で、子どもたちに多様な学びの機会を届けるための支援をしました。



支援先
03

認定特定非営利活動法人フローレンス

親子の暮らしの支えとなるように、主にひとり親世帯の働くお母さんが安心して就業を続けられるように病児保育のサポートを行ないました。



支援先
04

認定 NPO 法人ビッグイシュー基金

食料品の支援だけでなく、安定した住まい・くらしにつながるために、民間の社会資源や社会保障制度の利用を呼びかける活動をサポートしました。



支援先
05

認定特定活動非営利法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ

全国各地で開催されているこども食堂は子どもと保護者だけでなく、地域みんなの居場所です。コロナ禍でも地域とつながり続けるための食支援活動をサポートいたしました。



支援先
06

一般社団法人全国フードバンク推進協議会

各地の社会福祉施設や困窮世帯への食糧支援を行なうフードバンク活動をサポート。提供された食料の配送など、運営が円滑に進むようを支援しました。



支援先
07

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド

元々、食料事情が厳しいアフリカのブルキナファソや政府による感染防止規制が厳しいウガンダなど、世界的な飢餓への対策のために寄付いたしました。





この記念キャンペーンは基準価額 3 万円を達成した 2015 年より始まり、4 万円達成時には 4 まんじゅう、5 まんじゅうプレゼントを実施。お客様とともに歩み、ともに喜ぶ、当社独自のキャンペーンで、約 1 万名を超える方々にご応募を頂きました。

当社では今後も「投資」だけでなく「寄付」の流れを促進することで社会全体の経済を活性化させ、社会貢献につなげていきたいと考えております。

■代表取締役会長兼社長 藤野英人のメッセージ■

新型コロナウイルスが猛威を振るい、生活が困窮している方々が世の中に多くいらっしゃる中、民間の力での助け合い「共助」の面から私たちが出来ることは何かを考えたとき、「寄付」という選択肢が浮かび上がりました。

お客様からも、ひふみを通して寄付が出来たらという熱いお言葉を直接頂戴していたこともあり、お客様が寄付かステッカーかを選択できるようにしたところ、多数のお客様に寄付をご選択いただき大変感謝しております。今回は、人が生きていく中で最も重要な「食えること」を皆が維持できるように尽力する寄付団体の皆様と提携させていただきました。

投資と寄付はともに、「社会全体の経済を活性化して、私たちの未来を明るくする」ものです。

これからも、社会に良い流れを生み出し続けていけるよう、全力を尽くしてまいります。

■寄付先団体名■ 全 7 団体（順不同）

認定 NPO 法人 D×P（ディーピー）

認定特定非営利活動法人カタリバ

認定特定非営利活動法人フローレンス

認定 NPO 法人ビッグイシュー基金

認定特定活動非営利法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ

一般社団法人全国フードバンク推進協議会

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド

以上